

三好社長—晴れの勲二等瑞宝章—

おめでとう

三好社長は、当社社長として、また損害保険業界主脳として社会に貢献した功績により、4月29日、天皇陛下から勲二等に叙せられ、瑞宝章を授与されました。心からおよろこび申し上げます。

勲章は5月2日(月)午後2時から皇居内「松風の間」で福田総理大臣から伝達され、ひき続き2時45分から同

豊明殿で天皇陛下の拝謁を賜わり、その後、皇居外庭で記念撮影が行なわれ、おごそかなうちにも晴れの伝達式は滞りなく終了しました。

勲章を受けられた社長は、午後3時50分、さん然とかがやく勲章を胸にして本社に戻られ、4時すぎから本社最上階43階で、在京役員並びに本店各部長の内々のお祝

社長ごあいさつ

今日、勲章をいただきましたが、誠に有難いことと思います。

私は、日頃から特に勲章をいただくことにはこだわらず、いただけるものならいただきますという気持ちでおりました。本日午後、宮中で伝達されたわけですが、昭和45年に藍綬褒章をいただいたとき以来、二度目の皇居参第であり、今日は感激を新たにしました。

ところで、今回の勲章は、三好個人ではなく、安田火災がいただいたものなのです。安田火災がいただくようになったのは、何十年も前、会社の創立以来、何万人何十万人の社員、何百万人の代理店さん、いろいろのお得意さんのご協力の結晶だと思います。ここに改め

て、これら関係者ご一同に心から御礼申し上げます。

私は昭和48年にブラジル国から勲章をいただいたことがあります。ブラジル国の大使館に呼ばれ、大使から「あなたに勲章を差し上げる」といわれたとき、私は「安田火災は貴国に対して、保険を通じて何らかのお役に立ちえたかもしれないが、私はブラジル国に対して何の貢献もしていない。したがって安田火災を表彰するというのならわかるが、私が勲章をいただくのは人ちがいで、それならば、この件で功労のあった人にあげて下さい」といいましたところ、「三好さん、あなたのお気持はよくわかる。しかし、私どもが差し上げるのは三好さん個人ではなく、安田火災なのです。たまたま、あなたが代表者であるから、代表者としてのあなた



祝辞を述べられる勝山会長



役職員の祝辞に応えられる三好社長

ございます

いの会に出席されました。

お祝いの会は、乾杯の後、社長のご挨拶があり、役職員を代表して森西常務からの祝辞、SASY勝山会長からの祝辞が述べられました。参会者は杯を手に社長を囲み、喜びの宴は日が暮れるまで続けました。なお社長ご挨拶・森西常務祝辞・勝山会長祝辞は次のとおりです。

に差し上げるのですよ」といわれ、ナルホドと思い、頂戴したわけです。

この一事でもわかるように、勲章をいただいたのは、私個人がどうというのではないことをご承知いただきたい。

私が入社してから40数年、その間、私はいろいろの人々と仕事を共にしてきました。何人かの人から教訓をいただいたこともあります。私が今日あるのはこれらの方々の教訓に負うところが大きいので、この席を借りて御礼申し上げます。

今日の勲章受章には、最初にも申し上げたとおり、多くの方々のご協力・ご支援に負うところが多い。その意味で、この勲章受章は皆様のお蔭であり、再度御礼申し上げて、受章のことばとしたいと思います。



役職員代表・森西常務の祝辞



およるこびの三好社長（左が勲二等瑞宝章、右が藍綬褒章）

■ お祝いのことば 常務取締役 森西定雄

社長、おめでとうございます。全役職員6,442名を代表して、お祝いの言葉を述べさせていただきます。朝からの雨まじりの天気も、昼から五月晴れになった今日、5月2日、社長が皇居において勲章を受けられましたことを役職員一同に代りまして心からお慶び申し上げます。

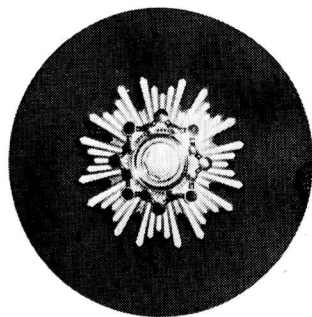
新聞発表によりますと、勲二等叙勲は70名、政官界、学者が大部分で民間人は4名、しかもその中に、安田火災の名があることは、われわれにとりましても、非常に名誉なことであります。民間人で、この榮譽を授かるのは、極めて稀で、われわれ一同、心からお祝いを申し上げます。

この受章による当社のイメージアップを機に、役職員一同、心を引き締め、V52作戦完遂をめざしてがんばりますので、社長におかれましても、ご健康に呉々も留意され、ますますご活躍あらんことを心からお祈り申し上げ、ごあいさついたします。おめでとうございます。

■ お祝いのことば

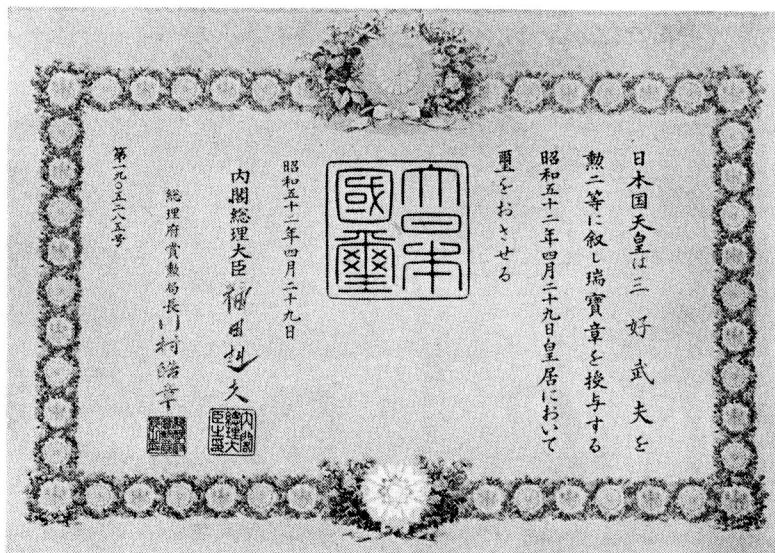
SASY会長 勝山卓太郎

三好社長、おめでとうございます。あなたは、非常に幸運の時期を迎えておられる。去年は、本社ビルが完成し、最近のあなたの顔色は今までになくよいように見受けられる。さらに、この度は永年にわたる功績に対して勲二等瑞宝章が授けられた。誠に時宜を得た受章と、心からおよろこび申し上げます。今後は健康に呉々も留意され、ますます社業に精励されることをお祈りし、お祝辞とさせていただきます。



▲勲章

勲記▶



■ 勲章について ■ <解説>

○日本の勲章制度につき、昭和8年太政官布告（勲章従軍記章制定ノ件）は次のように定めています。

勲等勲章：勲等ハ勲績及功アル者ヲ賞スル為メニ設クル所ノ階級ニシテ位階ト異ナル故ニ各種ノ勲章ヲ佩用セシム
勲等ヲ分ツテ八級ト為ス

勲一等…右ニ叙スル者ハ一等勲章ヲ賜フ
勲二等…右ニ叙スル者ハ二等勲章ヲ賜フ

（以下略）

○明治21年にいたり、これら勲章制定の主旨を実現するための勅令（各種ノ勲章等級製式及ヒ大勲位菊花章頸飾ノ製式）が公布されました。要旨は次のとおり。

1. 宝冠章：勲一等ヨリ勲八等ニ至ル婦人ノ勲アル者ニ賜フ （以下略）

1. 勲一等旭日桐花大綬章：旭日大綬章ノ上級トス勲アル者に賜フ （以下略）

1. 瑞宝章：勲一等ヨリ勲八等ニ至ル勲アル者ニ賜フ 章 鏡珠ノ形ヲ以テ飾ル 綬 地淡藍色双線橙黄色

1. 大勲位菊花章頸飾（略）

○勲章の佩用については次のように決められている。

勲章佩用式（明治21年 勅令）<抄>

第4条 瑞宝章

2. 勲二等瑞宝章ハ右肋ニ佩フ。



お祝い会席上の三好社長